

令和3年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）③

令和3年9月28日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和3年度行政評価・外部評価③ 「地域型保育事業支援事業」【子ども未来課】
開催日時	令和3年9月28日（火） 午後3時35分から午後4時30分まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 田村佳子、室淳子、伊藤直樹、岡崎信久、近藤恵美子 <担当課> 子ども部長 門前 健、 同部次長兼子ども未来課長 飯島 淳、 課長補佐 柴田浩善、保育係長 武田憲明 <事務局> 総務部次長 福岡隆也、行政課長 若杉雅弥、 課長補佐 伊藤 愁、庶務係長 加藤優作
傍聴者人数	1人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の質の確保のためには、事業者任せではなく市の支援が必要であり、定期的巡回は2か月に1回程度とのことだったが、回数が少なくないか。また、巡回する担当者が変わっても継続的な指導が出来る体制が必要である。</li> <li>・現場では、熟練の技だけではなく、一定のレベルの指導を保てるようマニュアルの策定なども検討してほしい。</li> <li>・巡回訪問による現場確認以外に、保護者の生の声や保育士の待遇改善に向けた要望を今後の整備、対策に活用して欲しい。</li> <li>・待機児童の解消と保育の内容の充実、向上を並行して行っていく事が重要だと思う。 各園の見回り及び現場の声（利用者、施設側両方）を聞き、事業への支援をしていく必要がある。</li> <li>・地域型保育事業に限るものではないが、休日保育についても、利用機会の少なさから需要を表に出すことを控えているように感じる。 利用者たちの声を聞き取る試みを続けてほしい。</li> </ul>
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育園と小規模保育事業の認知度を上げていく必要があるの で、広報誌などで特集をしてはどうか。</li><li>・保育指導者の指導基準の目線あわせとチェック機能が必要。 基準づくりは、熟練指導員だけに任せるだけではない方がよ いと考える。</li></ul>
--	---

講評・まとめ	<p>令和4年度に小規模保育事業者の募集予定、民間保育園の誘致も計画されており、待機児童の解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>保育の質の向上に向けて、チェックシート改善だけでなく、園長経験者に限らず専門家による指導、保育士が相談できる体制の構築など、取組を更に充実させて欲しい。</p>
--------	---